



長崎県議会議員 深堀ひろしだより

第8号

平成25年 4月発行
発行責任者／深堀ひろし

背景：満開の桜（大村公園）

元気な

よかけん

街 創る



2月定例会 一般質問応援者の皆さま

＝ どうも ＝

早いもので、いよいよ任期4年の折り返しを迎えました。この間、新人県議として激勦の県議会の中で、微力ではありますが、政郷長崎を元気によか街にするため取り組んで参りました。

本会議における一般質問の機会もこれまで3回頂き、政策に掲げた二重行政の改善や人口減少対策、観光の振興、環境問題などは、多岐に亘る分野について質疑と交わりました。

また、委員会活動においても政策提案等も行い、その結果、成果とあげたいと言えますが、私の主張も一定理解をいただくと自負しております。

例えば、新たな補助金制度における事務処理の簡素化、学校指定物品の県内企業からの優先購入、リサイクル認定製品の普及促進、救急医療補助制度の運用見直しなどは、私の存在感とする事が出来たと思います。これまで常任委員会、文教厚生、環境生活と経験しましたが、次年度は更なる研鑽のため、別の委員会を希望したいと思っております。

これからいよいよみなさんと約束した政策を実現するため、そして政郷を元気にするために頑張ります。

さて、この夏には参議院議員選挙が実施されます。長崎選挙区には、私の友人でもある矢のチャレンジャー大久保ゆきらが参議院二期目の戦いに挑みます。

私たちが民主主義においては大変厳しい選挙にはありますが、負けの訣にはいけません。

現在の与党に参議院まで過半数を奪われたら、この国はどうなるのか。巨大な与党が独裁的政治を行えば、必ず誤ります。確かに民主党は、まじまじと未成熟な政党かもしれませんが、国民本意の政治を目指す政党であることは間違いありません。

我が国に健全な二大政党制を根付かせるため、私も微力ですが、一歩懸命に活動に参ります。

深堀 ひろし



平成25年2月 長崎県議会定例会 レポート



2月18日から始まった平成25年2月定例会は33日間の会期を経て3月22日に終了しました。そして、長崎県政史上初の通年議会も閉会しました。

会期は実に304日間、終わってみれば、あっという間でした。この初年度の通年議会を経て、より議会活動を充実するための見直しも行いながら次年度に繋げていきたいと思えます。

さて、今定例会は何と言っても、平成25年度一般会計予算案(約6812億円)の審議が主な議案でありました。

しかし、政権交代後の新政権が経済対策として打ち出した平成24年度補正予算(2件:約393億円)が15カ月予算として組み込まれ、結果的には平成25年度は約7206億円規模の一般会計予算となりました。ただし、経済対策として打ち出された補正予算は出来るだけ早期に執行しなければ意味がありません。出来るならば、平成24年度中若しくは平成25年度の早い時期までに契約するよう委員会でも要望したところです。

また、いくら予算があっても計画性のない発注を行えば、経済対策にはならないでしょう。その点も十分考慮しながら発注・契約を行うことも求めました。

平成25年度当初予算(案)の主な内容

●私立高等学校キャリアサポート事業費・・・3,830万7千円

郷土を担う高校生の就職活動を支援し、県内就職率の向上を図るため、私立高等学校におけるキャリアサポートスタッフ(就職指導専門員)の配置等を支援

- ・キャリアサポートスタッフの配置 3,750万円
- ・先輩、経営者などによる講話 80万7千円

●長崎県教育ICT化推進事業費・・・1億4,148万5千円

県立学校や小中学校の推進拠点校にタブレットPCや電子黒板等のICT機器を導入し、実践研究を行うとともに、免許外教科担任の授業サポート、複式学級の指導充実を図るため、遠隔授業システムを整備し、離島地区等の生徒に遠隔授業を実施

- ・ICT教育推進事業 小中学校12校 5,002万8千円
- 県立学校5校 4,091万8千円
- ・遠隔授業による教育活動充実事業 5,053万9千円

●長崎県フッ化物洗口推進事業費・・・972万6千円

県内の公私立幼稚園、保育所、小学校で実施するフッ化物洗口によるむし歯予防対策を支援

- ・フッ化物洗口薬剤等経費への助成 622万5千円
- 補助率 2/3(今後段階的に引き下げ)
- ・推進体制の構築、研修会の実施等 350万1千円

●首都圏での長崎情報発信・営業拠点づくり事業費

・・・1,772万7千円

首都圏における県産品のPR・販路拡大を図るため、東京産業支援センターに商談ルーム等の営業拠点を整備するとともに、首都圏における「長崎県応援店(仮称)」の取組を実施

●「売り出せ!水産ながさき」販路拡大事業費・・・4,715万6千円

「長崎県水産物販売戦略」に基づき、生産者及び流通関係者並びに行政等が一体となった安定的取引の拡大や消費者ニーズに即した「売れる商品づくり」等の取組を実施

- ・実践的活動モデル支援 1,250万円
- ・平成「長崎俵物」に関する支援 1,150万円
- ・地域ブランド等の商品開発に対する支援等 1,350万円

●農業生産新技術普及支援事業費・・・6,721万8千円

経営コスト縮減による農家所得向上を図るため、園芸用施設の長寿命化等による低コスト化の支援を実施

- ・園芸用施設の補強、部材交換(補助率1/3) 5,820万円
- ・低コストハウスの導入(補助率2/5) 600万円

●孫文・梅屋庄吉と長崎近代交流史展示室(仮称)整備事業費・・・1億6,559万7千円

孫文と梅屋庄吉を中心に、近代交流史において長崎が果たした歴史的意義や役割等を広く発信する常設展示施設を旧香港上海銀行長崎支店に長崎市と共同で整備

●世界遺産登録推進事業費・・・1億5,962万8千円

世界遺産登録に必要な各種業務を実施

- ・長崎の教会群とキリスト教関連遺産 1億3,185万7千円
- (平成27年登録実現に向けた推薦書作成等)
- ・九州・山口の近代化産業遺産群 2,777万1千円
- (協議会負担金等)

●離島活性化交付金事業費・・・2億8千万円

離島における雇用の拡大や交流人口の拡大、安全・安心な定住条件の整備強化等の取組を支援

●競技力向上特別対策費・・・6億1,580万4千円

平成26年の「長崎がんばらんば国体」に向けて、競技力向上につながる効果的な対策を実施

- ・特別強化費の拡充
- ・スポーツ専門員の拡充(35人→47人)など

●原子力災害対策整備事業費・・・4億5,938万4千円

県地域防災計画に基づき、原子力災害に対処するための資機材等の整備及び防災訓練等を実施

●長崎県住宅性能向上リフォーム支援事業費・・・3億

県民の安全・安心につながる住宅性能向上を図るための住宅リフォームについて、工事費の一部を助成

- ・バリアフリー・安全型リフォーム (補助率:1/5、補助上限額:20万円)
- ・省エネ型リフォーム(補助率:1/5、補助上限額:30万円)
- ・防災型リフォーム (補助率:1/5、補助上限額:30万円)

●公共事業費・・・817億5,975万5千円

- ・都市公園整備事業費 13億6,700万円
- ・下水道事業 6,766万円
- ・道路橋梁街路事業 327億8,155万円
- ・港湾事業 69億73千円
- ・空港事業 2億4,675万円
- ・河川砂防事業 75億7,560万4千円
- ・ダム建設事業 23億6,245万5千円
- ・住宅市街地事業 22億4,410万円
- ・農業農村整備事業 38億2,885万6千円
- ・造林林道治山事業 47億2,823万2千円
- ・漁場整備事業 44億1,444万円
- ・漁港事業 90億7,898万1千円
- ・新幹線整備事業 61億6,405万4千円

条例議案等の主な内容

○長崎県防災会議条例及び長崎県災害対策本部条例の一部を改正する条例(危機管理課)

災害対策基本法の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

○長崎県新型インフルエンザ等対策本部条例(医療政策課)

新型インフルエンザ等対策特別措置法の公布に伴い、新型インフルエンザ等の発生に備え対策本部を設置する条例を制定しようとするもの。



県政一般質問

世界遺産2015年の登録を目指し、 最大限の取り組みを求める!!

長崎県の重要課題の一つである世界遺産(長崎の教会群等)登録について「世界宗教史上の奇跡」とされる「信徒発見」から150周年という節目となる2015年の登録を目指し、官民を挙げて県民運動等を展開しているが、現状の課題等を確認するとともに長崎に所縁のある著名人の協力など更なる活動の強化を提言しました。また、エネルギー自立を目指す島「対馬プロジェクト」については、本プロジェクトの実効性や費用対効果を確認しましたが、不透明な点もあるため、長期的な視点に立ち、対馬市民の安全安心な生活を担保することなどを含め、今後慎重に検討・判断することを求めました。

質問項目

- 1 世界遺産(長崎の教会群等)登録に向けた取り組み
- 2 観光振興策について
- 3 ナガサキ・グリーンニューディール戦略プロジェクトについて
- 4 中学校における武道授業の実施状況について

主な質疑は以下のとおりです。

質問 世界遺産登録に向けた課題は何か?

回答 登録に向け、去る1月22日に文部科学大臣に推薦書原案を提出したところであるが、これまでの指摘事項のうち、「資産全体の価値について、全国での理解、周知が不足している」という点については、最終的な登録が実現するまで、引き続き県民を挙げて取り組んでいく必要がある。



環境生活委員会における 私の質疑・要望

住宅性能向上リフォーム 支援事業の導入について

新規事業であることから、支援内容を県民へ十分PRすることや、申請書及び添付資料については、各市町と十分協議し、重複して作成・提出させることがないよう強く求めました。(既に補助制度を持っている市町と重複支給が可能となるが、申請書類等は統合できるように)

意見書

今議会に上程された意見書については採決の結果採択されました。

- ・ 地方財政対策と地方公務員給与について
- ・ 諫早湾干拓事業に係る環境影響評価準備書の長崎県意見への対応について
- ・ 国境離島に関する特別措置法の整備について
- ・ アメリカ合衆国の核実験の中止を求める意見書
- ・ 北朝鮮の核実験に対する厳正な対応を求める意見書

特に、長崎の教会群は、これまで先例のない潜伏の歴史に関わる文化的景観や集落も構成資産としているため、計画づくりだけではなく、実際の保存管理を適切に実行していく必要がある。

そのためには、行政だけではなく、住民の方々の参画が大変重要であり、県民一人ひとりに、その価値と魅力を深く理解していただく必要がある。

質問 登録後の来訪者対策(トイレや駐車場など)は進んでいるのか。

回答 観光客流入に伴う対策は大きな課題である。このため、行政・教会関係者・観光関係者・有識者からなる会議で、住民の意見も踏まえアクションプランを策定したが、今後、これらの対策を具体的にどのように実行するか、財源をどうするか、どのような体制整備を図っていくか中身を詰めて実効性のあるものにしたい。

質問 エネルギー自立を目指す島プロジェクトに対馬を選定した理由は何か。

回答 国境離島である対馬は、産業の活性化や交流人口の拡大などが喫緊の課題である。

また、対馬市は平成22年度に環境実践モデル都市に選定され、以来、地元企業や住民の方々とともに環境都市の実現に向けて取り組みを進めてきた経緯があり、今回、再生可能エネルギーの大幅な導入に対し、対馬市も大変前向きに捉えていることから選定した。

質問 エネルギー自立とは、具体的にどのようなものか。

回答 対馬で目指しているのは、内燃力発電と太陽光や風力をはじめとした様々な再生可能エネルギーとのベストミックスにより、先進的なモデルとなり得るものを目指している。

要望 このようなモデルは国内でも実証されている。また、対馬という広大な島では莫大な投資が必要となるし、災害などトラブルが発生した際は、島民の安全安心な生活に影響がでる恐れもある。

平成25年度には具体的な計画を策定するようだが、費用対効果も念頭に慎重に精査することを求めておく。

「長崎県入札物件に関する指名業者選定基準の改善に関する請願書」願意達成!!

前定例月議会で紹介議員となっていた上記請願については、請願提出後、県政改革特別委員会において、関係企業等を参考人招致し集中審査が行われ、最終的には、「県内に営業所等を置く県外企業については、県内企業と同等に取り扱う」旨の確認がされました。

これを受け理事者側も入札参加者等選定要領を改正したことから、長崎県に貢献している県外企業の救済が図られました。従って、提出していた請願は撤回しました。



県立図書館の 整備基本方針について

平成18年以降、そのあり方を検討してきた長崎県立図書館の再整備について、やっと一定の整備基本方針が示されました。

しかし、その中身と言えば、長崎学資料を含む郷土資料を所蔵する県立図書館郷土資料センター(仮称)を長崎市へ、郷土資料以外の資料を所蔵する県立図書館を大村市に建設するという、実に不可解な方針となりました。

なぜ、「知の拠点として県民を支える図書館」をわざわざ分割するのか。人口や研究機関・大学等が集中し利用頻度やニーズの高いから県都に設置されていた県立図書館であるにもかかわらず、地理的な要素やコスト比較だけで、なぜ、大村市へ移設するのか。多くの識者が疑問を抱いています。

この件については、議案ではなく報告という位置づけであったことから、今後も継続して疑問点について確認して参ります。

みんなで取り組む災害に強い 長崎県づくり条例の制定

この一年間、総務委員会で議員提案条例として検討・策定されてきた本条例が、全会一致で可決されました。あらためて総務委員会のメンバーに敬意を表したいと思います。

この条例は、本県において過去に発生した甚大災害を踏まえ、今後起こりえる様々な災害に備えることを目的としています。

災害を未然に防止し、たとえ災害が発生したとしても、被害を最小限にするため、防災意識の高揚、物資の備蓄、医療救護体制の構築などを規定し、「災害に強い長崎県」を実現していくものです。



3/1～19 長崎電気軌道労組職場集会



3/24 孫文・梅屋夫妻像序幕式



3/23 九電ユニオンボウリング大会



1/7 消防出初式



3/22 民主党長崎県第1区
総支部定期大会



1/19 J P 労組旗開き

写真で振り返る
深堀ひろし
活動日記



1/6 日韓国際武道大会



3/10 民主党長崎県連
定期大会



2/15 連立会派予算要求への回答



1/31 電力総連組織内地方議員会議



2/7 マレーシア視察



3/15 山里中学校卒業式



ちよと
ひとと
息

毎度のことですが、今年も「ひろしと語ろう会」を開催します。年に一度の機会ですから、是非多くの方々のご来場をお願いいたします。

日 時 平成25年4月22日 18:30～20:30
場 所 長崎新聞文化ホールアストピア
長崎市茂里町3番1号 TEL 095-844-2412
会 費 4,000円

※この件についてのお問い合わせは下記の電話番号までお願いします。



ご相談は
お気軽に

長崎県議会議員

深堀ひろし

(連絡所)

長崎市城山町3-19

TEL/FAX 095-800-3780

*インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧いただけます

<http://www.fukahorihiroshi.net/>

